

11月3日（日）千葉歴史文化フォーラム

千葉開府 大治元年説を検証する

妙見菩薩倚像（多古町妙光寺蔵 千葉県指定文化財）

午後1時半～4時半
千葉県教育会館 大ホール
千葉市中央区中央4-13-10
TEL 043-227-6141

資料代 一般 500円
会員 無料

講師

峰岸 純夫（歴史学）
東京都立大学名誉教授 文学博士

長原 亘（考古学）
千葉市埋蔵文化財調査センター

パネラー

丸井 敬司（歴史学）
元千葉大学非常勤講師 文学博士

濱名 徳順（美術史学）
山武市・富津市文化財審議委員

コーディネーター

京極 勇剛
佐倉市 寶金剛寺住職


*『千学集』は大治元年（1126）千葉常重が今日の千葉市の礎を築いたと伝えています。果たしてこの伝承は正しいのか、歴史学・考古学・美術史学の側面から検討します。

とりわけ、千葉常重（常胤の父）は大椎（現土気周辺）より移居したとされますので、土気地区の古代～平安の状況を最新の発掘成果から検証し、千葉市域との繋がりを考えます。さらに、移居の要因や時期を歴史や美術史から指摘しようとするものです。

連絡先  千葉氏を語る会

TEL: 090-8305-6601

後援：千葉市

 千葉氏顕彰会 

TEL: 090-1254-9143